



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成27年度 No.2

第117号 平成27年8月25日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村良子

印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：537人

第49回日本作業療法学会に参加して

富山県高志リハビリテーション病院 総合リハビリテーション療法部 作業療法科

岡崎 太郎

本学会は、テーマ「温故知新～五十路を還り将来を展ぶ～」のもと、学会長の古川宏先生を始め、多数の先生方のシンポジウムや口述発表、ポスター発表がありました。私自身も、口述発表をさせていただき、多くの先生方からご指摘、ご意見を頂き、今後の発表の参考になりました。

シンポジウムでは、「回復期リハビリテーションにおける作業療法～作業療法の成果をクライアントや他職種に示していくために～」というテーマのもと、金沢脳外科病院の東川哲朗先生、イムス板橋リハビリテーション病院の澤田辰徳先生、誠愛リハビリテーション病院の洲雅子先生の御講演がありました。その中で印象に残っているのは、作業療法の成果は作業で見せるものでありADLはどこでも出来るようになって自立するものであること、そしてADL自立は患者様が今後の生活を送る上でのアドバンテージであり、大切なのは患者様が大事にしている活動（作業）があるということです。この御講演を聞いて、改めて作業療法とは何かを考えることができ、患者様が大切にしている活動ができるよう今後もアプローチをしていきたいと思いました。

また、シンポジウム「高次脳機能障害者の作業行動の経過を追う～1事例に関わった複数の作業療法士の視点から～」では、一人の患者様に対し、

急性期、回復期、生活期で関わった作業療法士がそれぞれの立場で患者様をどう評価しリハビリテーションを行ったかとそれらはどう結びついているかを作業行動理論に基づいて述べられていました。そのなかで印象に残っているのは、回復期の役割は、急性期ではできないこと(nothing to do)が多い中で、ADLなどで出来ること(doing)を増やすこと、そして出来ること(doing)と患者様自身が障害を持った中でどのように行動できるかを理解すること(being)のギャップを埋めることであるという事です。回復期は機能改善が生じやすい時期であり、出来る動作(doing)は大幅に改善されます。しかし、出来る動作(doing)の中には、病前と異なるやり方で行わなければならないものもあります。例えば、トイレ動作では、病前は自立されていた方でも、車椅子や手摺を使用することがあります。また、立ち上がる時でも、どこの手摺を持ち、足をどう接地して立つかなど注意すべきこともあります。これらのことを、患者様自身が動作する上で必要なことであり、動作を行う上で守らなければならないことであると理解できることが、「できるADL」と「しているADL」を一致させていく事につながると思います。この御講演を聞いて、今後のアプローチに生かしていきたいと思いました。

第56回作業療法全国研修会に参加を！

実行委員長 田村良子

前号の県士会ニュースでお知らせしました第56回作業療法全国研修会の参加申込み登録が始まりました。県士会のホームページを見ていただけましたか？全国研修会の案内や申込み登録のバナーも入っています。富山の素晴らしい風景が画面にあり、「富山に行きたいな」という思いをつのらせるものになっています。新幹線の開通で県外からの参加者も多いとは思いますが、富山県士会員の参加を大いに期待しています。

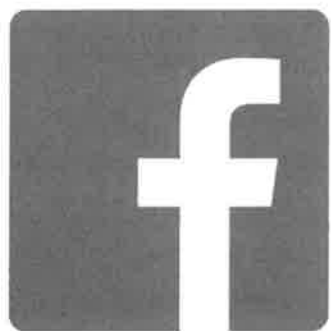
県士会で行った生活行為向上、認知症初期集中支援の研修会にはそれぞれ200名弱の会員が参加しています。また、生涯教育の基礎研修受講率も全国1位の富山県です。最良の作業療法を対象者に届けようと日々自己研鑽に励んでいる皆さん！今回、地元で開催されるという経済的メリットを活用し、協会もあっと驚く参加者数になるようにしようではありませんか。

研修会の内容は送付したプログラムにありますように、今作業療法士として持つべき知識、技術がコンパクトに詰まっているものです。2会場に分かれて配置されていますので、選択して受講して下さい。26日第2ホールでは、富山県士会の企画講座「過疎地域における作業療法士の在り方」

があります。富山県の現状と照らし合わせながら、多くの指針を得る事ができるでしょう。なお、27日第2ホール12:30～の講座名が「各領域の発達障害における発達学的支援」から「自閉症スペクトラム障害などの発達障害に対する作業療法 ～どう捉えて、どう支援する？～」に変更になりましたのでお知らせします。

作業療法全国研修会は、日本作業療法士協会主催で協会教育部の事業です。その運営を開催県の士会に実行委員会を設け協力していきます。実行委員会は田村会長、松岡副会長、作田常務理事、高林理事、谷口理事、齋藤理事の6名で進め、当日の講師接待、受付、会場進行を47名の運営委員にお願いしています。


富山県、富山市、富山県医師会、理学療法士会、言語聴覚士会、看護協会、臨床心理士会、社会福祉士会、介護福祉士会、ホームヘルパー協議会の後援や富山県、富山市の補助金をいただいています。今年度の全国研修会のテーマである『作業は人を健康にする～地域へとつむぐ役割～』に貢献できる作業療法士を目指し学びましょう。公開講座も必見です！



第56回作業療法全国研修会が富山国際会議場で開かれます。9月26日～27日です。沢山の方の参加をお待ちしています。事前登録は7月8日～9月2日です。

(参加費 事前登録：10,000円 当日受付：12,000円)

フェイスブックで第56回作業療法全国研修会のページを作成しました。

みなさん  やシェアして拡散をお願いいたします。

実行委員 作田 清子

認知症初期集中支援チーム研修会のご報告

富山県作業療法士会 認知症初期集中支援チーム推進委員会

委員長 齋藤 洋平

作業療法士が認知症初期集中支援チームに求められて何年経ったでしょうか。

また、オレンジプランが出され、作業療法士の能力を発揮できる機会がどれだけ増えたでしょうか。

そして、皆さんはそれをどれだけ理解し、どれだけ関わっているでしょうか。

6月14日の基礎編研修会には、福井県たけとう病院の中村こと美先生をお招きし、190名を超える会員が参加し、7月5日の実践編研修会には、南砺市の認知症集中支援チームの取り組みを紹介し、80名を超える会員が参加しました。そのなかで、認知症初期集中支援チームやオレンジプランに関する作業療法士の役割や必要性について紹介するとともに、そのなかには、多くのチャンスがあることについて触れました。

きっと、話を聞かれた方であれば、身体障害も認知症も疾病を問わず、作業療法士がやらなければならないことは一緒で、生活行為向上マネジメントも認知症初期集中支援チームも方向性は同じだということがわかっていただけたのではないのでしょうか。

しかし、みなさんと話を交わす中で感じたことは、富山県人の気質なのか、とても受け身的で、

声を掛けてくれるのを待っていると言った印象を受けました。また、せっかくのチャンスを目の当たりにしているのに、掴んでいないこともわかりました。

作業療法士は、この与えられ、求められているチャンスに、自主的かつ積極的に関わらないと、今後、存在価値や職域が、段々と失われてしまう可能性があります。しかし、このチャンスを上手く活用し、地域で活躍することで、今後、さらなるステップへと繋げることもできるはずです。

実践研修では、症例検討はもちろんですが、作業療法士が自分で考え、地域をマネジメントする力も養っていただくため、グループワークを通し、地域作りやチーム作りについても考えていただく内容となっています。

また、県士会員のフォローアップができるように、窓口も開設(e-mail:toyama.dementia@gmail.com)し、情報提供や人材育成も継続していく予定です。

実践編にまだ参加されていない方は、11月15日の認知症初期集中支援チーム研修会実践編に参加して、自分たちの地域作りを始め、“自分が”認知症になっても一人暮らしができる町づくりをしましょう。



「認知症初期集中支援チーム研修会」に参加して

老人保健施設 シルバーケア城南 折江千尋

平成27年6月14日(日)に認知症初期集中支援チーム研修会が開催され、講師は福井県士会認知症対策委員会・たけとう病院デイケア野向の舎、作業療法士の中村こと美先生でした。講義は「超高齢化社会の日本」の現状から始まり、国の認知症施策としての認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）についての説明もあり、今回のチームでの支援の必要性を理解しやすいものでした。認知症初期集中支援チームは認知症になった方の意思を尊重し、住み慣れた良い地域で暮らし続けるためご本人やご家族に早期に関わり早期診断・対応を目的としています。講義の冒頭で平成24年の時点で軽度認知障害の方も含めると約900万人（高齢者人口の約1/4に相当）の方が認知症を患っていることも説明にあり、今後更に増え続ける高齢者の方々を支える為にも些細な変化にも気づき、早期からの対応が急務であると感じました。

認知症初期集中支援チームにおいてOTとして生活行為の障害や本人の希望の支援、環境設定、家族支援等様々な役割がありますが、講義の中では現在県士会でも展開されてきている生活行為向上マネジメントを使用し、対象者の「やりたいこと」に焦点を当てる支援計画を立てることについてもお話がありました。また先生の出席された研修会で「私たちは分かっていないかもしれないという謙虚な気持ちを忘れないでほしい」「OTが不安を払拭する切り口になってほしい」という話が出た事が印象に残ったとのことでしたが、今回講義を聴かせて頂いた私も同じく印象に残りました。専門職であるが故の先入観や考えにとらわれてはいけないことやアセスメントを通しての対象者との関係作りを強みとしていくべきという事が改めて大切だと思いました。今後はOTとして十分な支援を行うことが出来るよう認知症初期集中支援、生活行為向上マネジメントについて学びたいと思います。

生活行為向上マネジメント (MTDLP)

ケアポート庄川 松岡 暢

まず、会員の皆さんが心配されている平成27年度介護報酬改定によって新設された「生活行為向上リハビリテーション実施加算」算定要件に関しては、MTDLP研修の基礎研修を修了し、実践者研修を終了したのものについては算定要件を満たすことになりました。（協会HP「生活行為向上マネジメント研修と修了証について」参照）ただし、平成28年3月末までの経過措置。日本作業療法士協会と富山県作業療法士会に入会していることが必須です。

平成28年4月1日からは算定要件該当者は基礎研修+実践者研修のセット、つまり、実践者研修修了証を取得している者に一本化されます。

県士会で行っているMTDLP研修においては、多くの会員の皆さんに参加いただいていることを嬉しく思います。MTDLP研修は、基礎研修（概論、アセスメント・プラン演習）と実践者研修（事例報告・事例登録）から成ります。

❖ 基礎研修：基本的な知識と実践手法の習得

を目的とし、概論90分と演習330分

❖ 実践者研修：対象者への実践を促進することを目的

この2つを修了すると、MTDLP熟練者として認定されます。協会からは、平成28年度末までに基礎研修約320名、実践者研修（事例報告実施者）約150名、熟練者約25名の修了者目標が富山県に対して示されています。容易にクリアーできる目標ではないかもしれませんが着実に研修を行っていくしかないと思います。

冒頭に述べました算定要件を満たすには、県士会としての研修体制は現段階では不十分なところもあります。しかし、MTDLP自体は算定要件を満たすためだけのものではありません。作業療法がこれから地域支援事業や地域の住民の皆さんに受け入れられるために、活動と参加に重点をおいたMTDLPを各自が習得し、それぞれの分野で成果をあげていくことが作業療法士の生き残る道だと言っても過言ではありません。

平成27年度
会員異動など

新入会者

井口 裕 貴	富山市民病院
市井 万菜美	老健 みしま野苑一穂
大澤 知 歩	高志リハビリテーション病院
岡本 順 子	自宅
金田 いずみ	公立学校共済組合北陸中央病院
川東 由理恵	済生会 高岡病院
行澤 史 都	丸川病院
草島 未 悠	西能病院
小笹 真珠子	アルペンリハビリテーション病院
島津 一 輝	アルペンリハビリテーション病院
杉江 恒 星	八尾総合病院
武内 寧 花	池田リハビリテーション病院
永井 綾 恵	富山市恵光学園
中村 浩司郎	高志リハビリテーション病院
南部 雅 充	公立 南砺中央病院
野原 奈 於	市立砺波総合病院
樋口 裕 孝	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
福田 恵津子	公立 南砺中央病院
増田 崇 人	介護老健 みどり苑
松田 美 香	藤の木病院
安川 修 平	山田温泉病院
安川 千 耶	西能みなみ病院
山本 江 莉	
山本 皓 太	アルペンリハビリテーション病院
山本 将 也	アルペンリハビリテーション病院
渡辺 沙由里	真生会 富山病院
小坂 美 沙	誠友病院

〈お知らせ〉

異動や改姓、退会についてニュースで、その都度案内しておりましたが、会員システム変更に伴い、3月以降に会員の皆様からいただきました異動や改姓、退会についてお知らせできませんので、ご了承下さい。よろしく願いいたします。

湯口 美 香	介護老健 さくら苑
山辺 紗 知	老健 みしま野苑一穂

再入会

新入会員の横顔

- 名前
- 施設名
- 出身校or旧所属施設
- OTとして働いてみての感想
- 私の好きな言葉
- 自分を動物に例えると？その理由は？
- 今年チャレンジしたいと思っていること



- 井口 裕貴
- 富山市立富山市民病院
- 富山医療福祉専門学校
- 周りの環境に恵まれていて毎日が新鮮で楽しいです。
- 臨機応変
- 猫：周りの人に言われるから
- 一人旅



- 市井 万菜美
- 老人保健施設
みしま野苑一穂
- 富山医療福祉専門学校
- 不安もありますが、1つずつ新しいことが経験できて楽しいです。
- 一期一会
- キツネ：職場の先輩に似ていると言われたから
- 一人旅



1. 金田 いずみ
2. 北陸中央病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 日々患者さんのできることが増えるの間近で見ることができ、喜びを感じています。また、治療効果がでることも嬉しいですが、患者さんとの関わりの中で生まれる何気ない会話にも楽しさを感じています。
5. あきらめない
6. アルパカ：ゆったりとした雰囲気を持つてるから
7. 早期離床に関する勉強会に参加したいです。



1. 行澤 史都
2. 丸川病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 正直毎日が不安で頭がパンクしそうです。OTとしての知識・技術はもちろんですが、1人の人間としてもまだまだ未熟者で、毎日の仕事・私生活が勉強だと感じています。特に他職種や地域との連携が患者さんの早期家庭・社会復帰に必要な不可欠なもので、人との

コミュニケーションがとても大切な職業ということを感じました。今後も上手くやっていけるかは不安ですが、職場のスタッフ皆さんが大変優しくあたたかみのある環境なので、積極的に先輩方からアドバイスをもらい、また、たくさん、研修にも参加してOTとして1人の人間として成長していけるよう頑張りたいです。

5. 人生一度きり
6. 犬：褒められると頑張ってしまう。
7. スケートボード、スノーボード(キッカー・ジブトリック) サッカーorフットサルの社会人チーム参加、体力づくり



1. 中村浩司郎
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 日本福祉大学
4. 学生として患者様を見るのではなくOTとして見るのではなく先生として患者様も接してくださるのでやりがいを強く感じています。また感謝の言葉がもらえると大変な仕事でも最後までアプローチ出来てよかったと感じます。

5. 努力
6. 犬：優しいとよく言われる。また、元気な時は元気。
7. 症例検討



1. 川東 由理恵
2. 済生会高岡病院
3. 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
4. OTの仕事は思っていた以上に大変で、毎日学ぶことがあります。自分がしているリハビリで患者さんが良くなるのかと悩むこともあります。職場の先輩方にご指導・アド

バイスを頂きながらリハビリを行っています。OTの仕事は大変ですが、患者さんから「ありがとう」と笑顔で言われる度、やりがいのある仕事だと感じます。

5. 笑う門には福来たる
6. サルです。騒がしくて、落ち着きがないとよく言われます。
7. 貯金とアクティブにラフティングです。



1. 草島 未悠
2. 西能病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 整形疾患が主なので、身体面に目を向けがちなのですが、高齢の患者様が多いので、もう少し認知面にもアプローチできるようにになりたいと思いました。
5. 為せば成る
6. リス
7. ボルダリング



1. 南部 雅允
2. 公立南砺中央病院
3. 日本福祉大学
4. 患者様と触れ合ったり、先輩方からの助言を受けたりしながら毎日学ぶことが多い、充実した毎日を送っています
5. 笑顔
6. クマ：肩幅が広く、体が大きいから
7. バンジージャンプ!!



1. 野原奈於
2. 市立砺波総合病院
3. 神奈川県立保健福祉大学
4. 勉強の毎日です。患者様の笑顔や感謝の言葉に毎日励まされています。
5. ありがとう
6. 猫：マイペースなところ
7. 新車のマイカーでお出かけ



1. 樋口 裕孝
2. 北陸病院
3. あいち福祉医療専門学校
4. 今まで学校で学んできたことが全く身に付けられていなかったと痛感しました。これか

らでも、もっといろいろな知識を身に付けていきたいと思っています。

5. 小さな努力は大きな成功、スマイル
6. 亀：今の自分は何をするにも時間が掛かっているので…
7. 長距離ランニング、サッカー、手品



1. 安川 修平
2. 山田温泉病院
3. 福井医療短期大学
4. 難しいと思うことも多くあるが、やりがいのある仕事であるとより思うようになった。
5. 人を考える
6. キリン(身長が高い)
7. 多くの知識・技術を学び、治療に活かせるようになりたいと思います。勉強会に参加していく。



1. 安川 千耶
2. 西能みなみ病院
3. 日本福祉大学
4. 毎日充実していますが、週末が待ち遠しいです(笑)
5. 働かざる者食うべからず
6. サル。昔から家族に言われます。
7. ボルダリング!!



1. 渡辺 沙由里
2. 医療法人 真生会 真生会 富山病院
3. 金沢大学
4. 作業療法は病院に入院していても、その人らしい生活に近づいていく仕事であり、色々な作業を治療に取り入れることができる面白さがあります。医療職の中では特殊な分野かもしれませんが、それ

が私には合っていると思います。中学生からなりたかった職業でしたが、夢を叶えOTになって良かったです。

5. 和顔愛語
6. ねこ。自由気ままなところ、よく寝るところ、猫座なところ等が似ているように思います。
7. 小学生の頃、水泳を習っていました。今年はそれを再開できればと思います。



1. 福田 恵津子
2. 公立南砺中央病院
3. やわたメディカルセンター
4. 作業療法は奥が深くて毎日楽しい。もっと努力したい。
5. 楽しい!
6. 猫。マイペースだから。
7. 油絵を描くこと



1. 増田 崇人
2. 介護老人保健施設 みどり苑
3. 専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー
4. 初めは解らない事が多く、1日を勤める事に一生懸命でしたが、1つ1つ解ることが増えるにつれ、自身の未熟さを再確認し、学習の必要性があると感じました。

5. 真実一路
6. 象：仲間意識が高く、争いを好まない
7. 今年は、多くの研修会に参加したいと思っています。そこで得た知識や、諸先輩方に教えていただいたことで得た知識を深め、実際に担当させて頂いている利用者様に提供していくようにしたいと考えています。



1. 山本 皓太
2. アルペンリハビリテーション病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. まだまだ無力なんだと痛感。でも奥が深くやりがいのある仕事
5. 後悔しない選択
6. ネズミ：見た目?(笑)よくそう言われます(笑)
7. 富山マラソン!!参加します!



1. 小坂 美沙
2. 誠友病院
3. 浅ノ川総合病院
4. 前職場では4年間の経験がありますが、対象となる患者様が変わるなど、戸惑う事が多くありました。しかし、最近は少しずつ慣れてきたので、楽しんでリハビリができればいいなと思っています。

5. 十人十色
6. かめ：マイペースだから
7. 認知症に関する勉強会に参加する事

平成27年度 第2回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成27年5月11日(月) 19:00～

参加者：作田、浅生、田邊、丸本、吉波、島津、
齋藤、高林、松本、森、橋爪、松岡、
高岡、小倉、広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 総会議案書－議案書は理事・部長に確認済みであり、修正したものを再度理事に確認予定。決算書については、特に問題なし。
2. 総会時の役割分担－田村氏・齋藤氏が講師接待。他の理事で会場と受付の準備をする。
3. 富山県リハビリテーション専門職協議会委員の選出－作田氏・田邊氏・橋爪氏了承。
4. 全国研修会各講座の司会－講座ごとに司会は概ね理事が担当し、了承。

〈報告事項〉

1. 全国研修会実行委員会－4月18日：協会担当者との打ち合わせ、会場下見。5月2日：実行委員の役割分担。業者委託JTB、スガキ印刷
2. 富山県リハビリテーション専門職団体協議会設立会議－4月22日、PT、OT（作田氏）、ST士会の役員が出席し、協議会の趣旨、運営要綱の検討を行う。5月11日に県医師会長、県高齢福祉課、医務課、健康課へ設立報告、活動の説明と協力依頼を行う。
3. 平成27年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業補助金－4月30日付で30万円申請
4. 認知症初期集中支援チーム研修会進捗状況－講師：中村こと美氏（たけとう病院 作業療法士）に決定。

平成27年度 第3回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成27年7月13日(月) 19:00～

参加者：田村、松岡、広野、作田、浅生、田邊、
丸本、吉波、高林、松本、谷口、島津、
齋藤

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 東海北陸リーダー研修
11月7日、8日静岡県にて予定。県士会より理事1名、部長4名。参加者は、次の参加者への報告書や引継ぎを行う。平成28年度は富山県が会場となる見込み。
2. 精神保健福祉研修会：9月17日、18日宇奈月国際会館セレネ。協賛金10,000円承諾。ボランティアを新川地区の会員を中心に募る。
3. 懇親会の日程：全国研修会後で日程調整する。
4. 新人の部会割り振りについて
松岡氏より各部長に連絡し、新規入会者にお知らせする。総会に参加されていなかった入会者は、松岡氏が調整し割り振る。
5. 富山県高齢福祉課より：アンケート結果を知りたいとの連絡あり。9月以降に返答予定。
6. 会費値上げについて
県内各施設のリーダーを集めてのリーダー研修会を開催し、生活行為向上マネジメント・認知症初期集中支援チーム・災害リハビリテーションなど協会や県士会での取り組みの進捗状況を報告し、その機会に会費を値上げする方向性について説明する予定。開催日程については次回理事会で検討。

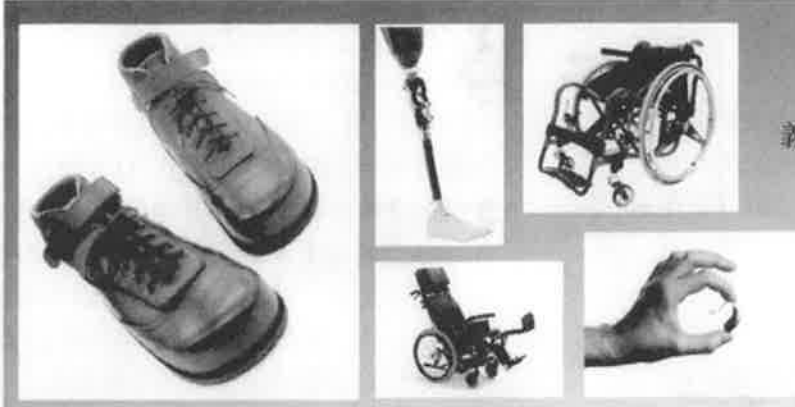
〈報告事項〉

1. 第3回47都道府県委員会7月25日、26日東京。会長代理丸本氏、オブザーバー出席島津氏。事前アンケート（制度対策－小児部門、地域ケア会議について）は、田村会長返答送付（7月20日締切）

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

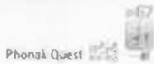
義手・義足・補装具等 製作修理

オーダーメイド靴 製作

車椅子・ストーマ・補聴器

福祉用具貸与販売

高度・難聴の方をサポートする、
クエストシリーズのパワー&防水タイプの
補聴器です。



(株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より

リースガール



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- 手芸糸 ハマナカ
 - 刺し子 オリムパス、ナスカ
 - ビーズ手芸 トーホー、ミユキ
 - マクラメ糸 ダルマ、川端
 - ちりめん手芸 東芸
 - その他 S.M、M.B他
- 各手芸材料取り扱っています。



ボタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

2. 健康と長寿の祭典。11月10、11日県民会館にて開催－普及指導事業部 作業療法紹介、作品展示・販売大会長表彰（健康増進部門）－早川氏推薦、知事表彰（公衆衛生事業功労）－田村氏推薦
3. 作業療法体験会－7月26日厚生連高岡病院。32名。8月24日県立中央病院。27名の参加申し込み。理事作田（高岡地区）、広野（富山地区）参加予定。
4. 平成27年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業費補助金30万円の交付決定通知（5月18日）
5. 訪問リハビリテーション地域リーダー会議 5月21、22日 東京。田邊氏、河原氏出席。訪問リハビリの効果検証のためのデータ収集が全体的な取り組みとして必要。
8月9日にリスク管理研修を予定しているが、2月に活動と参加に向けたテーマを予定。
関係職種向けのパンフレットを作成予定。
6. 生活行為向上マネジメント、認知症初期集中支援研修会開催状況。
生活行為：6月25日、委員会を行い、方針など確認した。7月16日に再度かみいち総合病院にて委員会予定。
認知症：総論6月14日は190名余りの参加。実践編7月5日は80名余りの参加。次回は、11月15日富山医療福祉専門学校にて開催予定。
メール・アカウント取得し、クラウド管理開始。
HPからの問い合わせ方法を検討中。
7. 第56回全国研修会の進捗状況
実行委員が協会とやり取りをしながら進めている。当日は、実行委員の他、運営委員(47名)で会場進行、受付、接待をする。
財務部の混乱を避けるため、県士会口座と別に全国研修会用の口座を作る。
タイムスケジュールを作り、シュミレーションして課題を検討する。

8. 各部会より
 - ・ 発達部会－7月26日
特別支援教育に関する研修会 富山医療福祉専門学校にて9時30分より15時30分まで予定。90名以上の参加見込み。
 - ・ 教育部－現職者共通研修
7月26日1日、27日・8月10日午後半日予定。現職者選択研修・精神分野 11月22日予定。
 - ・ 生涯教育推進委員会－6月20日藤井氏出席
 - ①生活行為向上マネジメント研修会の参加に関しては、協会番号と氏名がある書式に合わせ、教育部で参加者の把握を行う。
 - ②各地区の事例検討会と生活行為向上マネジメントの事例検討会を合わせて行うことは、推進委員のマンパワーや運営上課題があるため難しい。

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 T E L 076-425-1166	
(株)ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 T E L 0766-56-7099	
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 T E L 076-476-0001	
(有)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 T E L 076-421-3444	
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 真一)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 T E L 076-276-4400(代)	

編集後記

今年度は、生活行為向上マネジメントや認知症初期集中支援チーム等の研修があり、また9月には全国研修会が富山で開催され学ぶ機会が多い年ですね。日々、学ぶ努力が必要だと感じているこのごろです。(M.K)